

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	沖縄観光・自然・文化「めんそーれ」カレッジ事業		
法人名	学校法人フジ学園		
学校名	専門学校ITカレッジ沖縄		
代表者	理事長 玉城 政光	担当者 連絡先	屋宜 宣秀 TEL098-833-6715
<p>1. 事業の概要</p> <p>①事業の主題 「企画～手配～販売～旅行」という旅行業務の流れを通した”旅”をプランニングする企画力と、感動できる”旅”を実行する行動力を身につけると共にIT関係・外国語・自然環境・歴史・文化等のスキルを身につけることで、オールラウンドのコーディネータを教育するカリキュラムを開発する。 *詳細につきましては、別紙事業報告書の2.実施内容をご覧ください。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況 事業の達成について、下記の2点に集約される。 ①オールラウンドのコーディネータの教育を目的に行った実施講座について、予定内容を全て実施終了することができた。受講生については、10名でスタートしたが、途中2名が就職(観光系以外の企業)したため、最終8名で修了となった。 ②復習教材として開発した携帯プレイヤー(ipodを活用したVOD教材)教材について、実施した講座(映像デー)31ファイル中30ファイルを復習教材としてVOD化およびサーバーへアップロードした。 以上の結果から、当初の事業趣旨および目的に対して、事業完遂として完了したことを報告する。</p> <p>②事業により得られた成果 成果についても下記の2点に集約される。 ①実施講座と平行して行った企業研修について、受講生の内3名がそのまま研修企業へ採用となり大きな成果として報告する。 ②復習教材について、受講者アンケート(別紙)の回答から、44名/58名中(回答累計)の方が復習に役立ったと回答しており、大きな成果であった。</p> <p>③今後の活用 VOD教材について、今回の協力校である沖縄ビジネス外語学院で、平成20年度授業として活用予定。また、VOD教材の内、観光施設データについては、協力いただいたおきなわワールドにて試験的に使用する予定である。</p> <p>④次年度以降における課題・展開 今回の開発した教材について、異文化理解やコミュニケーション能力といった講座についてさらに開発していく必要がある。また、観光ルートにないスポットやローカルな話題に目を向け教材化していくことも、携帯プレイヤー(VOD教材)を活用する上で重要な課題であると捕らえている。さらに、再チャレンジ支援の観点から、”長く企業で働くこと”を可能にするための考え方や教材を開発することは、今後の教材を継続活用していくポイントの一つになると考えており、平成20年度より取り組み検討を開始する。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

別紙企業ニーズ報告書をご覧ください

②カリキュラムの開発

別紙事業報告書の4.実施経緯をご覧ください。

③実証講座

別紙事業報告書の5.実施講座および事業報告書の9.受講者アンケートをご覧ください。

④その他

事業の実施にあたり、特に実施講座については、沖縄のローカルな観光知識を習得していただくことに重点をおき、各講座の担当講師とも調整を行った。また、座学による知識習得だけではなく、実際の観光施設である首里城およびおきなわワールドを現場研修として体験し、エコツーリズムにおいても実際の湿地帯を野外実習として体験させる工夫を行った。